

【生産者情報】

Monte dei Ragni モンテ・デイ・ラーニ

オーナー: Zeno Zignoli ゼーノ・ズィニョーリ

地域: Valpolicella ヴァルポリチェッラ

地区、村: Fumane フマーネ

醸造責任者: Zeno Zignoli ゼーノ・ズィニョーリ

栽培責任者: Zeno Zignoli ゼーノ・ズィニョーリ

コンサルタント名: なし

ホームページ: <http://www.montedeiragni.com/>



【ドメーヌについて】

ドメーヌ創業年: 1990 年代

ドメーヌ解説

出典: 生産者 HP、メールのヒアリングによる

フマーネ・コミュニンのブーレ (標高 220m) からマズレーガの集落 (標高 430m) にむかう尾根に、ラーニョ家が5代にわたって運営し、自分たちの土地で、自らが栽培したブドウを使ってワインをつくっています。ブドウ以外に栽培している植物は、サクランボやオリーブ、洋ナシなど多岐にわたり、オリーブからは高貴なオイルが得られます。20 世紀はじめの数十年間は、自分たちのワインをヴェローナの名高いオステリアに直接販売していました。

ブドウ畑の面積は 6~7 ヘクタールで、太陽の光をよく浴びられる位置にあります。土は痩せているため、ブドウの栽培には理想的です。『マローニエ』と呼ばれるモルタルを用いない壁をつくり、畑をテラス状に形成しています。ブドウの栽培はペルゴラ仕立てで、受光と耕作の点で優れています。

ブドウの樹々の間にはオリーブやサクランボが植えられています。3月にはこれらの開花時期にあたり、息を呑むような絶景が広がります。

モンテ・デイ・ラーニ ワイナリーは、ラーニョ家の所有する土地で生まれました。オーストリアの支配下にあった時代に編集された歴史的な土地台帳にその名前があったため、モンテ・デイ・ラーニという名前がつけられました。

農業会社の創設者のうちの一人がラーニョ・サントです。彼は、1900 年代のはじめころにはすでに、この土地から収穫されるブドウの重要性を見抜いていたため、ブドウの栽培により力をいれるようになります。会社は発展し続け、19 世紀前半にはやや北にあるマズレーガ地区まで所有地を広げました。その土地にもすぐにブドウやサクランボ、オリーブの樹をうえました。今日でも、これらの土地の改修は行なわれています。

石壁の間を通る古い小道をむかうと、マレーガ地区にあるワイナリーに到着します。マレーガは、1450 年にもさかのぼる歴史的な地区です。ヴィッラ・デッラ・トッレ近くの駐留地として誕生しましたが、その後農業会社になり、今日のわたしたちの時代まで残っています。ブドウの栽培とワインへの醸造は、はるか昔から行われていましたが、この土地のような丘陵地帯で行うと、よりよりのができるのです。

現在は、畑では改革的な手法を採っていて、品質の高い土着品種を、1ha あたり 5,000 本を超える植樹密度で植えています。芽が集中を避ける剪定や、土壌の耕作や間引き、ブドウ果の周りの空間の確保などの作業は最新の注意をはらいながら行われます。ブドウ畑で行なっている細かい気配りは、カンティーナで行なわれる作業、例えばしなやかなピジャージュや丁寧な压榨、有益な樽の使用などにも共通します。機械式のポンプはつかいません。ファビオ・ビゴリンとウンベルト・メニーニの2エノログの協力がありますが、2人の経験と情熱は、私たちと共有されています。

【畑について】

自社ブドウ畑面積 (ha): 2ha

自社栽培ブドウ品種: ロンディネッラ、コルヴィーナ